

## 赤谷の森の木材地域内活用に向けた課題や可能性

## 1. 元請け業者

- ・ 7/22 入札までどのような業者が落札するか未定。
- ・ クリなどの赤谷の森の木材を地域内で有効活用させることに理解が得られるよう要交渉。
- ・ 奥山で小規模の現場であり、入札にどこも応じない可能性もある。

## 2. 自伐型林業との連携

## 1) みなかみ町森林活用協議会

- ・ 町内で自伐型林業に取り組む 9 団体による森林活用協議会が 2021 年に立ち上がり、現在 12 団体に増えて農林課が事務局を担い地域おこし協力隊の 2 名がサポートに入っている。
- ・ みなかみ町とオークビレッジ(株) (岐阜県高山市) は、2018 年に林業の六次産業化および地域活性化を目指して包括的連携協定を締結している。
- ・ 具体的な活動の一つに「森を育む広葉樹産業化プロジェクト」として、町内の自伐型林業グループ等が伐採した町産材広葉樹をオークビレッジ(株)等と連携し製品化を行っている事業がある。
- ・ 赤谷林道 240 の 1 林小班について、元請け業者との調整や伐採協力者への報酬の確保、木材の流通確保など全体計画が固まっていないため、現段階では関わり方について有無を言える状況ではない。

## 2) 奥利根水源地域ネットワーク

- ・ 2003 年に設立され、主に藤原地域で環境保全活動や体験活動、ネットワークづくりに取り組んでいる。
- ・ 近年は自伐型林業にも注力し、メンバーは日当を得る形で活動している。
- ・ 2021 年度から地域おこし協力隊が 2 名活動しており、1) の事務局をサポートしている。
- ・ 2022 年度から森のおもちゃの家の管理を手伝っている。
- ・ 赤谷林道 240 の 1 林小班にどのような形で関わり得るか、課題は何かを 19 日の WG で確認予定。

## 3) 木木木林〔キキキリン〕

- ・ 2019 年に設立され、主に新治地区の東峰で自伐型林業をはじめとした里山整備に取り組んでいる。
- ・ メンバーは昼食支給によりボランティアに活動していて、移住者や若手が多い。
- ・ 将来の自立を目指して収益活動を検討中であり、トレーサビリティのとれた高付加価値な木材、製品生産、カスケード利用に意欲的。
- ・ 赤谷林道 240 の 1 林小班にどのような形で関わり得るか、課題は何かを 19 日の WG で確認予定。

3. 木材乾燥
  - 1) 町内で木材乾燥技術を有するのは丸喜材木店だが、小ロットの乾燥には不適らしい（未確認）。
  - 2) カスタネット工場（旧・プラス白桜社）は新治地区の布施に乾燥機を所有している。
  - 3) 「森林（もり）を育む広葉樹産業化プロジェクト」に位置づけられれば㈱カネモクでの乾燥も可能かもしれない。その場合は、オークビレッジ㈱との協議が必要。
  - 4) 天然乾燥
  
4. 製材機所有者
  - 1) 奥利根水源地域ネットワーク
  - 2) 桐匠・根津
  - 3) 工舎澄み処
  
5. ものづくり
  - 1) カスタネット工場（旧・プラス白桜社）でのカスタネット
  - 2) 森のおもちゃの家でのレーザー加工
  - 3) 工舎澄み処での木工
  - 4) オークビレッジ㈱や森林たくみ塾での木工
  - 5) その他、県内周辺地域の木工職人（上野村、沼田等？）
  
6. 販路
  - 1) 日本自然保護協会の支援企業や個人
  - 2) ふるさと納税
  - 3) ユネスコエコパークに共感する観光客等